

令和6年度事業報告

(第59回定時総会付属資料)

一般社団法人 名古屋林業土木協会

能登半島地震における被災地支援（その1）

令和6年1月6日 株式会社長瀬土建 株式会社所組 搬送

中部森林管理局と名古屋林業土木協会との間で協定締結している国有林防災ボランティア制度に関する協定に基づき今般の能登半島地震被災地への緊急支援を行いました。

富山、岐阜、愛知県内の森林管理署等及び当協会各各会員企業が提供可能な資材について石川県庁への運搬の協力依頼があったものです。

1号車(株式会社 長瀬土建)は飛騨森林管理署を10時に出発し12時に石川県庁へ搬送しました。

2号車(株式会社 所組)は岐阜県本巣市(会社)を8時に出発し(岐阜支部会員5社分積載)岐阜森林管理署で資材を追越し12時に出発、15時に石川県庁へ搬送を完了しました。

2台のトラックが搬送した支援物資は、岐阜県内各森林管理署等(飛騨、岐阜、東濃、技術センター)及び富山森林管理署と、名古屋林業土木協会6支部(神岡、古川、荘川、久々野、高山、小坂、岐阜)からブルーシート560枚、土嚢袋3,020袋(うち1t袋450袋)、アンカー、PPロープ、立入禁止テープなどです。



能登半島地震における被災地支援（その2）

令和6年2月29日 新栄建設株式会社 搬送

(一社)名古屋林業土木協会富山支部(高平公輔支部長)では、能登半島地震支援物資搬送に関して、2月29日(木)、支援物資を保管している立山町からブルーシート300枚、土嚢袋1000枚(名古屋林業土木協会富山支部提供分)を石川県庁へ提供・搬送しました。

この取り組みは、中部森林管理局と名古屋林業土木協会との間での国有林防災ボランティア協定に基づき能登半島地震被災地への緊急支援を1月6日に緊急搬送しましたが、富山支部提供分については経路の関係から一時保管していたものです。

先日、石川県から林野庁及び日本林業土木連合協会を通じて”引き続き不足している”との情報連絡があったことを受け、立山町の新栄建設株式会社(名古屋協会富山支部長)がワンボックスカーに積載し石川県庁へ搬送しました。



能登半島地震における被災地支援（その3）

令和6年3月25日 付知土建株式会社 搬送

名古屋林業土木協会東濃支部(三尾秀和 支部長及び協会会長)では、能登半島地震支援物資搬送に関して、東濃3支部(付知、中津川、坂下)会員企業11社と愛知支部会員企業5社、愛知県新城市にある中部森林管理局愛知森林管理事務所が提供したブルーシート等支援物資を、保管していた付知土建株式会社(岐阜県中津川市付知町)から石川県庁へ搬送しました。(その2から続く活動です)

今回搬送した支援物資は、ブルーシート322枚、大型土嚢70袋、土嚢袋2800枚、トイレトーパー600個で、7tトラックと普通乗用車に積載し無事搬送しました。



能登半島地震の協力要請対応に感謝状

令和6年3月7日 中部森林管理局大会議室

中部森林管理局では、令和6年能登半島地震の影響により発生した山地災害の応急対策に必要な土木資材を、国有林防災ボランティアの協力により石川県に提供しました。このたび、国有林防災ボランティア制度に基づき協定締結している長野林業土木協会及び名古屋林業土木協会の活動に感謝状が贈呈されました。

贈呈式は令和6年3月7日(木)中部森林管理局大会議室において、同日に開催される「治山・林道工事コンクール表彰式」の前段で行われました。

名古屋林業土木協会では国有林防災ボランティア制度に関する協定に基づき今般の能登半島地震被災地への緊急支援へ取り組む(取組→その1、取組→その2)とともに、各会員は他団体とも継続した支援活動も行われています。



第1回 合同委員会

令和6年4月25日 安全・技術対策、環境・社会貢献合同委員会

名古屋林業土木協会事務所会議室において、令和6年度第1回合同委員会を開催しました。

開会にあたり、新井 雅安全・技術対策委員長から、協会員が一丸となって対応した能登半島地震被災地支援への対応、林土連技術安全委員会の今年度の活動計画に基づく改善要望等の取り組みなど協力依頼されたほか、安全パトロールの実施など労働災害の未然防止に向けて取り組んでいきたい。など挨拶をいただきました。

柳 七郎環境・社会貢献委員長からは今年度も社会貢献活動や、国有林防災ボランティア活動など引き続き取り組んでいくことや、今年度の活動計画である「カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡)とGX(化石燃料からクリーンエネルギーへ)、生物多様性の推進」に資する取り組みについて取り組み内容の見える化など進めていきたいと、ご挨拶を頂きました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



11

住み続けられるまちづくりを



14

海の豊かさを守ろう



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



森林サービス産業推進特別セミナー

令和6年1月11日 岐阜県庁 ミナモホール

岐阜県庁1階「ミナモホール」において、岐阜県森林活用推進課と「ぎふ森のある暮らし推進協議会」による「森林サービス産業推進特別セミナー」が開催されました。

セミナーは、開会後はじめに青山 豊久 林野庁長官の基調講演が行われ、その後主催団体の構成員による事例発表が行われました。

事例発表では名古屋協会会員の株式会社長瀬土建 代表取締役長瀬雅彦(協会副会長)が地元高山市久々野町の振興のため”あららぎ湖”周辺のスキー場跡地を活用し地域の方々と協力しながら森林空間を活用したリトリートステイを進めている取り組みの発表がありました。

協会ではそれぞれ会員の自主参加の聴講としていましたが飛騨地方からも多くの会員の聴講者が見られたほか都市住民や林業関係者など、500人収容の会場はほぼ満席の盛会となりました。



3

すべての人に健康と福祉を



4

質の高い教育をみんなに



8

働きがいも経済成長も



9

産業と技術革新の基盤をつくろう



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



令和6年度林業土木技術講演会

令和6年5月23日～24日 高山市「高山市民文化会館 3-11講堂」

事務局から二日間の講習会の概要説明の後、新井雅 安全・技術対策委員長から、適正な施工管理が可能となるよう林野庁や森林管理局へ各種の改善要望等に協会として努めておりそれに対する回答内容や働き方改革の推進のため現場作業の効率化や安全確保など委員会として取り組みについてお話いただき、その後、



柳七郎 環境・社会貢献委員会委員長から、国有林防災ボランティア協定に基づく災害被害状況調査や社会貢献活動の取組状況、建設業におけるコンプライアンスと企業倫理で工事現場での不適切な事例を紹介され建設現場での関係法令遵守の重要性と注意喚起など講義をいただきました。

高山労働基準監督署の永田陽一署長から、講習会にあたっての労働災害防止への意識を高める有意義な機会としていただきたいとの挨拶をいただき、同労働基準監督署 林祐也 安全衛生課長より、労働災害の現状、建設業における労働災害事例について講義いただきました。



ESD（選ばれる森林土木）林野庁キャラバン

令和6年6月24日 中部森林管理局大会議室及びリモート

ESD(選ばれる森林土木)に向けた取り組みに関する説明会及び意見交換会が中部森林管理局大会議室及びリモートにより開催されました。

名古屋林業土木協会では、今回の林野庁キャラバンにあたり、事前に全会員に全会員から「選ばれる森林土木」の取組に対する問題点、現状の課題、林野庁担当者と現場の認識の温度差を浮き彫りにするため、この1ヶ月間、会員へ意見を求めました。

当日は、名古屋林業土木協会管内の5つの森林管理署ごとにそれぞれ該当する安全技術対策委員8名が支部会員から出された意見を反映すべく意気込んで参加しましたが、時間の制約もあることから総括的に安全技術対策委員長が網羅して発言し、会員から出された多くの意見要望は、第二部の意見交換会の場においてそれぞれ出席委員から実情をお話しました。



森林管理署との意見交換会

令和6年2月22日 小坂支部

下呂市小坂町「下呂市きこりセンター」において岐阜森林管理署主催による(一社)名古屋林業土木協会小坂支部の会員企業8社の現場代理人(代表含む15名)及び岐阜支部会員企業5社の現場代理人(同9名)と、岐阜森林管理署治山・林道工事監督職員等担当職員(署長含む11名)との意見交換会(参加者36名)が開催されました。



会議では、田丸清彦 総括治山技術官から、意見交換会の趣旨説明のあと、令和5年度林土連へ提出するために会員から提出のあった改善要望事項のうち、小坂、岐阜支部から提出された項目についてそれぞれ回答説明をいただきました。また、永瀬庄栄 次長からは、「職場における安全衛生活動について」、「検査における留意事項について」それぞれご指導いただきました。

3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



15

陸の豊かさも
守ろう



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



飛騨森林管理署で意見交換会

令和6年6月19日 飛騨4支部(神岡、古川、久々野高山、荘川)

飛騨森林管理署会議室において飛騨森林管理署主催による(一社)名古屋林業土木協会飛騨4支部の会員企業11社の現場代理人と飛騨森林管理署治山・林道工事監督職員等との意見交換会が開催されました。



会議の冒頭、木島 伸悟 飛騨森林管理署長より、働き方改革、受発注が共に取り組んでいる「選ばれる林業土木」への署としての取り組みのほか、労働安全の確保、飛騨署が今年度から取り組む「国有林みま森隊」への協力要請などお話がありました。続いて久保 喬之 次長からは請負事業者の労働災害絶滅に向けて、発注者綱紀保持対策への協力要請について、パワポを用いて説明いただきました。

それぞれの質問要望に対し飛騨署担当から応答され、早急に対応できる要望については速やかに取りかかり、制度改正の要望について上部へ進達したいとの回答がありました。

3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



15

陸の豊かさも
守ろう



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



緊急安全パトロール

令和6年6月13日 小坂支部 岐阜森林管理署

(一社)岐阜森林管理署(駒瀬勉署長)と一般社団法人名古屋林業土木協会小坂支部(新井雅支部長)は、合同で緊急安全パトロールを実施しました。

今回の緊急安全パトロールは、先月GW明けの7日、支部会員の治山事業地で、床掘り確認中、落石が頭部に当たり一時的に気を失うなど一歩間違えば重大災害になりうる事案(5.14付け号外)が発生したことを踏まえて、支部会員の各社代表者と岐阜署合同で現地パトロールを実施するとともに、その点検結果をもとに岐阜森林管理署会議室において災害防止対策検討会を行いました。

仲谷勝一総括森林整備官、田丸清彦総括治山技術官、出席会員全員から現場点検結果についてご意見を伺いこれらの内容を現場へ再周知することとして閉会しました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう



請負事業者等安全パトロール&安全会議

令和6年7月23日 東濃3支部(付知、中津川、坂下) 東濃森林管理署

令和6年7月23日(火)、東濃森林管理署主催の合同安全パトロール及び安全会議が開催されました。

当日、森林管理署からは見市貴司署長はじめ12名の担当官、恵那労働基準監督署から堀敦地方産業安全専門官、古川魁士労働基準監督官、協会から東濃3支部(付知、中津川、坂下)の11社11名と事務局1名で、総計26名が参加し、午前中は、加子母裏木曾国有林の「西沢右岸(十九の谷)2復旧治山工事」現場の安全点検を実施し、午後からは東濃森林管理署会議室において安全会議が開催されました。

安全点検は3班に分かれて実施し、安全会議では、各会社から参加された現場代理人さんから班ごとに点検結果と現場の感想等発表されました。各班の発表後は東濃署高村健介総括治山技術官、労基署堀専門官らから講評を頂きました。

その後、堀専門官から恵那署管内及び建設業における労働災害の発生状況等について講演いただいた後、今村正之東濃署次長より中部局による請負災害等労働災害の発生状況等の説明をいただきました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう



安全パトロール&安全会議

令和6年7月30日 富山支部 富山森林管理署

令和6年7月30日(火)、(一社)名古屋林業土木協会富山支部(高平公輔支部長)主催による富山森林管理署、魚津労働基準監督署との合同安全パトロール及び安全会議が開催されました。

当日は、富山森林管理署からは鈴木署長はじめ島光総括治山技術官、更谷主事、魚津労働基準監督署から小森労働安全衛生課長、協会から富山支部10社10名と協会事務局が参加し、上市町早月国有林の「小ブナクラ谷復旧治山工事」現場のパトロールと上市町文化研修センターの会議室において安全会議及び意見交換会が開催されました。

時折大粒の雨が降るあいにくの天気でしたが、このような天候でも大雨による急激な増水に備え安全に退避できるか警戒雨量の設定状況や避難措置方法など確認しつつ安全パトロールを全員で行いました。その後、現場事務所内の休憩部屋で魚津労基署小森安全衛生課長から講評をいただきました。

午後からは魚津市内の会議会場へ移動し意見交換会及び安全会議が開催されました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナリシップで目標を達成しよう



安全パトロール&安全会議

令和6年7月30日 小坂支部 岐阜森林管理署

令和6年8月22日(木)、(一社)名古屋林業土木協会小坂支部主催による岐阜森林管理署、高山労働基準監督署との合同安全パトロール及び安全会議が開催されました。

当日は、岐阜森林管理署からは駒瀬署長、藤井次長ほか8名の担当官、高山労働基準監督署から永田署長、林安全衛生課長、協会から小坂支部8社8名と協会事務局が参加し、2班に分かれて大洞国有林の「鹿山(観音滝)復旧治山工事」、「滝上(岩崎谷)復旧治山工事」、濁河国有林の「若栃(日面谷)復旧治山工事」現場のパトロールを実施した後、岐阜森林管理署会議室において安全会議が開催されました。

安全パトロールでは、全員で施工地の点検を行った後、高山労基署長及び安全衛生課長から講評をいただきました。

また、午後からの安全会議では、午前点検を行った際それぞれ指摘された事項を写真を用いて代表が説明を行うとともにそれぞれ参加者全員から点検結果及び現場の感想など発表し、最後に高山労働基準監督署長より講評をいただきました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナリシップで目標を達成しよう



合同安全パトロール

令和6年10月9日 飛騨4支部（神岡、古川、久々野高山、荘川） 飛騨森林管理署

（一社）名古屋林業土木協会飛騨4支部による飛騨森林管理署、高山労働基準監督署との合同安全パトロールが開催されました。

当日は、飛騨森林管理署からは署長、総括治山技術官、総括森林整備官、係員、高山労働基準監督署から署長、安全衛生課長、協会から飛騨4支部21社22名と事務局が参加し、高山市高根町野麦国有林の「野麦（脇谷）復旧治山工事」現場のパトロールを実施しました。

施工現場は、標高1,580mと高地のため気温も低く、早い冬が訪れるため、降雪期を前に急ピッチに進められていました。

パトロールでは、参加者各自が点検表等に基づきそれぞれ実施され、点検終了後は、各支部代表者が支部会員の意見を取りまとめ、高山労働基準監督署、飛騨森林管理署とともに講評を行いました。出された意見・指摘事項に対し現場代理人からは緊急的なものは早急に改善を行い安全作業に徹していきたい旨発言がありました。



永田高山労基署長



木島 飛騨森林管理署長



4支部代表挨拶
長瀬 支部長



工事概要説明 及び
点検手順説明



安全パトロール&安全会議

令和6年10月22日 岐阜支部 岐阜森林管理署

令和6年10月22日（火）、（一社）名古屋林業土木協会岐阜支部は、岐阜森林管理署及び関労働基準監督署との合同安全パトロール及び安全会議が開催されました。

当日は、岐阜森林管理署からは駒瀬署長、田丸総括治山技術官、山田森林土木専門官、加藤治山技術官、関労働基準監督署から杉山地産業安全専門官、協会から岐阜支部5社6名が参加し、午前中は関市板取地内の民有林直轄治山事業地「滝波谷復旧治山工事（受注者：西濃建設株式会社）」現場のパトロールを実施し、午後からは関市板取ふれあいセンター会議室において安全会議が開催されました。

安全パトロールでは、全員で施工地の点検を行った後、関労働基準監督署から講評をいただくとともに、意見交換を行いました。

安全会議では、岐阜森林管理署長から「国有林における請負事業体等の労働安全の確保について」安全指導を受け、その後、関労働基準監督署管内で発生した土木工事の災害分析等を中心に労働災害防止対策のお話をいただきました。



合同自主安全パトロール

令和6年10月9日 飛騨3支部（付知、坂下、中津川） 東濃森林管理署

令和6年11月28日(木)、(一社)名古屋林業土木協会東濃3支部(付知、坂下、中津川)主催による東濃森林管理署、恵那労働基準監督署との合同安全パトロールが開催されました。

東濃森林管理署からは見市貴司 署長、上矢作森林事務所 後藤弘二 行政専門員、恵那労働基準監督署から堀敦地方産業安全専門官、協会から付知支部、中津川支部、坂下支部の会員企業10社12名と事務局が参加しました。

パトロール終了後は、恵那労働基準監督署をはじめ各支部代表者から安全点検結果の講評を行いました。

安全点検で主に発表された指摘・改善事項については、当日に是正できる部分に対応していただきました。

最後に「今回のパトロールでの視点を各社の現場にも生かして安全第一で施工をお願いします。」と、佐々木中津川支部長の締めくくり挨拶がありました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう



安全パトロール

令和6年12月23日 愛知支部 愛知森林管理署

令和6年12月23日(月)愛知森林管理事務所と名古屋林業土木協会愛知支部は合同の安全パトロールを開催しました。当日は、愛知森林管理事務所から伊藤総括森林整備官、岡庭総括治山技術官、稲垣主任森林整備官、磯部治山技術官が、愛知支部からは5社7名と協会事務局が参加しました。

午前のパトロール(設楽町段戸国有林「段戸(西川)復旧治山工事」)では林道から施工地までは近距離ですが、仮設道を作設し資材運搬が行っており、重機と歩道を兼ねている部分もあることから立ち入り禁止区域を明確にすることなど意見がありました。また、作業路に急傾斜なところもありぬかるみによる滑り、転落等に注意することなど発言がありました。

午後のパトロール(豊橋市豊橋国有林「豊橋(石巻)治山施設災害復旧工事」)では、石巻山への一般登山者が工事現場を通過することから、誘導員によるケーブルクレーン運転中の通行人の一旦停止措置など安全確保をはかることや、施工地までの通勤歩道はかなりの急傾斜地であり一定の安全性を保つことができる階段や手すりなどの保安設備の設置する必要があるなど指摘がありました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう



令和6年度 林土連技術現地研修会へ参加（一日目）

令和6年10月22日～23日 広島市「グランドプリンスホテル広島」ほか

10月22日(火)～23日(水)、林土連技術現地研修会が、広島市「グランドプリンスホテル広島」及び民有林直轄治山事業地(黒瀬地区)ほか、において「－平成30年7月広島豪雨災害からの復旧・復興－」をテーマに開催されました。

<一日目>

初日の室内研修ではグランドプリンスホテル広島の2階「メインパンケットホール瀬戸内」を会場に、ご来賓として近畿中国森林管理局から高橋 和宏 局長、三浦 祥子 計画保全部長、中井 泰亮 治山課長、里見 昌記 広島森林管理署長をお迎えし、全国から参加した会員含め総勢143名が出席されました。名古屋協会からは三尾 秀和 会長ほか副会長、各委員長、事務局含め6名が出席しました。

18時からは、同会場にて研修交流会が開催され、開催地県となった広島県から 玉井 優子 副知事にご出席いただき歓迎のあいさつをいただきました。



高橋 和宏
近畿中国森林管理局長



新谷 龍一郎
林土連会長



泉 巖 大阪協会会長
※開催協会挨拶



木下 修 長野協会会長
※次期開催当番挨拶



令和6年度 林土連技術現地研修会へ参加（二日目）

令和6年10月22日～23日 広島市「グランドプリンスホテル広島」ほか

<二日目>

二日目はバスに分乗し、広島平和記念資料館と豪雨災害(平成30年7月)の復旧工事現場を視察しました。

豪雨災害復旧工事現場の視察では民有林直轄地治山事業として広島森林管理署が平成31年度から復旧事業に着手している東広島市黒瀬地区において、広島森林管理署 坂後 浩 山地災害復旧対策室長から山腹工事等復旧事業の概要を説明いただきました。視察後は東広島市内で昼食会を経て2日間の技術現地研修会は終了しました。



<終了後>

名古屋協会参加者は、現地研修会終了後、歴史的建造物の修復用材として東濃森林管理署管内加子母裏木曾国有林から産出された木曾ヒノキが使用されている「錦帯橋」と「厳島神社」を視察するとともに、あわせて会員企業及び会員ご家族の安全祈願を行いました。



令和6年度青年部(会議)研修会を開催

令和6年11月7日 東京都千代田区永田町「参議院議員会館」

名古屋林業土木協会では次代を担う人材育成の一環として青年部を組織しており、毎年、研修会や有識者等をお招きした勉強会、意見交換会を開催しています。

11月7日(木)参議院議員会館(千代田区)において今年度の講演会を開催し、講師に株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏と林野庁国有林野部業務課 宇山 雄一 業務課長をお招きしました。

藻谷氏からは『日本の林業と山村のこれから』と題してパワーポイントを用いて時折、クイズを交えながら聴講者に質問、回答に応じた受け答えをしつつ、我々がいかに社会に溢れる情報に侵されているかを指摘するなど、熱意の講演を予定2時間を超えてお話いただきました。続いて宇山課長からは『森林・林業・木材産業の現状と課題』と題して1時間お話しをいただきました。

研修会終了後は、都内飲食店において意見交換会が催され、札幌、名古屋両協会や林土連とも懇親を深めました。一連の研修会を通じ参加者全員が、非常に有意義な時間を過ごすことができました。



第3回青年部役員会

令和6年11月29日 株式会社 神高 会議室

令和6年11月29日(金)、富山市にある協会員 株式会社 神高さんの会議室においてR6年度第3回青年部役員会を開催しました。

今回の役員会では、12月17日に開催する合同委員会など当面の行事予定に伴う青年部の対応の確認と、令和6年度の活動の総括及び来年度の青年部研修会など活動方針及び令和7年度青年部総会の運営など打合せを行いました。



令和6年度林土連技術担当者連絡協議会等への出席

令和6年11月18日～19日 東京都「DAYS赤阪見附4階A会議室」

<技術担当者連絡協議会>

日時：令和6年11月18日(月)13:30～17:00

場所：東京都「DAYS赤阪見附4階A会議室」

参加：野中 豊(安全・技術対策委員会副委員長)
安達正彦(環境・社会貢献副委員会副委員長)
千葉(事務局長)

概要：例年同様、各協会から提出された改善要望事項について項目ごとに林野庁担当官から口頭で回答を頂き、項目ごとに出席者との間で改善要望項目の更問を含め現場の実態を説明し活発な意見交換が行われました。



<コンプライアンス講習会>

日時：令和6年11月19日(火)9:30～10:30

場所：同会場

<労働災害防止研修会>

日時：令和6年11月19日(火)10:30～12:00

場所：同会場



木製構造物の経年変化調査

令和6年10月10日 名古屋林業土木協会

林業土木における木製構造物の経年変化に関する調査研究は、(一社)日本林業土木連合協会と(株)森林テクニクスとの共同研究で実施されており、平成23年から継続的に調査が行われています。

今年度の名古屋協会が実施する調査箇所は、岐阜県中津川市付知町加子母裏木曾国有林に、平成23年施工した「コンクリート治山ダム(丸太残存型枠)」と、岐阜県加茂郡七宗町七宗国有林内に、平成22年施工した「木製水路工」が該当する調査箇所となり、去る10月10日(木)に会員の協力を得て調査を実施しました。

当日の調査では、接近してくる大量の山蛭と戦いつつ、構造物の部材や接合部について、腐朽や損傷、欠落等の有無の確認とともに、ドライバ貫通試験により腐朽状況を調査確認しました。



国有林クリーン（ゴミゼロ）活動2024

令和6年5月30日 飛騨卯の花街道 金華山 定光寺自然休養林 各周辺

国有林では毎年5月30日を「530(ゴミゼロ)の日」として、「国有林ゴミゼロ運動」と称し、管内の自然休養林等「レクリエーションの森」や一般の入り込み者の多い林道において5月30日から6月中旬にかけて一斉清掃整備活動が行われており、この取組には名古屋林業土木協会も全面的に協力しています。



「飛騨卯の花街道」及び日本一標高が高いパーキングエリアがある東海北陸自動車道の松ノ木峠付近



金華山国有林(国史跡、自然観察教育林、林野庁指定「日本美しの森～お薦めの国有林～」)の金華山ドライブウェイ周辺



定光寺自然休養林～森林交流館周辺

3

すべての人に健康と福祉を



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



国有林クリーン（ゴミゼロ）活動2024

令和6年6月13日 付知峡自然休養林

東濃森林管理署(中津川市付知町:見市貴司署長)では6月13日に一般者の入り込みの多い「付知峡自然休養林」(加子母裏木曾国有林)の林道沿線で清掃活動を実施しました。当日は、中津川市、同観光協会、地域の関係団体等や森林管理署職員とともに名古屋造林素材生産事業協会東濃支部及び名古屋林業土木協会付知、中津川及び坂下の3支部から11名が参加し、総勢48名が参加して実施されました。



赤石園付近の除草作業



通行に支障が想定される灌木類を伐徐



きれいに清掃された道路を走行する入込車両

3

すべての人に健康と福祉を



11

住み続けられるまちづくりを



12

つくる責任 つかう責任



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「定光寺自然休養村」 森林整備

令和6年5月30日

愛知支部 名古屋造林素材生産事業協会愛知支部 林野庁中部森林管理局愛知森林管理事務所

名古屋林業土木協会愛知支部(安藤和央支部長)と、名古屋造林素材生産事業協会愛知支部は合同で「定光寺自然休養林」の森林交流館駐車場や丸根山園地等の施設周辺の草刈り清掃をフォレスト・サポーターズ活動の一環として実施しました。

この休養林は名古屋市の北東、岐阜県境地区の庄内川に沿いに位置し、東海自然歩道をはじめ、多くの登山道・遊歩道が通っており、野鳥のさえずりを聞きながら森林浴が楽しめます。近隣には、尾張徳川家の菩提寺で桜と紅葉の名所としても有名な「定光寺」などの史跡・名勝があり、四季を通じて名古屋都市圏の野外レクリエーションの場として利用されています。



「宮の大イチイ」 遊歩道整備

令和6年6月19日 久々野高山支部

国有林では、次世代への財産として健全な形で残していくべき代表的な巨樹・巨木を全国で100本選定し「森の巨人たち百選」として保全しています。

名古屋林業土木協会久々野高山支部(長瀬雅彦支部長)では、毎年、「宮の大イチイ」への経路にある遊歩道等の補修等に取り組んでいます。今回は、大イチイ周辺の遊歩道及び木製歩道・階段及び木橋床板に積もった枯れ葉・苔等の除去等清掃など木製構造物の長寿命化を図ったほか、歩道路面の補修作業を行いました。

当日は、今年一番の暑い日となりましたが、参加者は熱中症にならないよう飲み物を十分に用意し、やぶ蚊等の対策に香取線香、マダニ対策の為に袖や襟をしっかり防護できる服装を確認し作業に臨みました。



「平湯大ネズコ」遊歩道整備

令和6年6月27日 神岡支部

名古屋林業土木協会神岡支部(加藤 勝 支部長)は「平湯大ネズコ」(次世代への財産として健全な形で残していくべき代表的な巨樹・巨木100本「森の巨人達百選」NO.55)へ通じる遊歩道の整備に取り組みました。

神岡支部では、毎年この活動に参加し「平湯大ネズコ」へ通じる遊歩道の整備に取り組んでいます。夏を迎える北アルプスの麓・平湯温泉郷にも大自然とのふれあいを求め観光客や登山者が徐々に増えてくれることを願って地元平湯町内会、平湯温泉観光協会とも連携して実施しており、今年も大ネズコまでの遊歩道に生い茂った笹などを刈り払い機で除草しました。

今後も、レクリエーションの森林における森林・林業社会貢献活動の取り組みを通じて地域振興に寄与する活動を地域と一体となって継続していく考えです。



3 すべての人に健康と福祉を



6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナリシップで目標を達成しよう



「白水の滝・白水湖」周辺整備

令和6年7月19日 荘川支部

林野庁が指定する「レクリエーションの森」(全国593箇所)の中で、特に魅力的で観光資源としての活用が期待される箇所は「日本美しい森 お薦め国有林」として93箇所選定されています。

選定箇所のひとつである「飛騨白山白川郷自然休養林」は、白山(標高2,702m)の麓に広がる亜高山帯の森とエメラルドグリーンに輝く「白水湖」周辺には、毎年夏山シーズンには多くの人々が訪れ素晴らしい自然を満喫することができます。→日本美しい森 お薦め国有林「飛騨白山白川郷自然休養林」名古屋林業土木協会荘川支部(小坂健太郎 支部長)では、その自然休養林内にある「白水の森」・「白水湖」周辺の整備に平成20年から毎年継続して取り組んできており、今年で16回目を迎えました。

当日は、飛騨森林管理署 砂留 直浩 森林技術指導官、白川森林事務所の熊澤智史 森林官のご参加いただく中、荘川支部会員企業3社から9名が参加し、遊歩道周辺の倒木や枯損木の伐除、遊歩道や園地の草刈り、危険箇所への立ち入り禁止ロープの補修などに取り組みました。



3 すべての人に健康と福祉を



6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナリシップで目標を達成しよう



「岩村城趾」美化活動（山の日記念）

令和6年8月23日 東濃3支部

名古屋林業土木協会東濃3支部（三尾秀和付知支部長、加藤政太郎坂下支部長、佐々木典博中津川支部長）では、毎年8月の祝日「山の日」の前に、中部森林管理局が推奨する森林・林業社会貢献活動の一環として、名古屋造林素材生産事業協会と協働して岩村城址や、薪能会場となる岩村歴史資料館周辺の森林づくり活動（環境整備作業）に取り組んでいます。今年の「いわむら城趾薪能」は8月31日（土）に開催されることとなり、作業の適期を考慮して開催一週間前の環境整備作業に取り組みました。

当日は、付知、中津川、坂下支部会員27名で、この日は非常に蒸し暑い環境の中、参加者を熱中症にならないよう十分に対策を行い、史跡と一体となって、文化的・歴史的価値のある景観を構成している岩村城趾周辺の草刈りや、駐車場からの雨水対策、国道から城趾までの市道刈り払い等を分担し作業しました。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「白木峰」登山道への整備作業

令和6年9月7日 古川支部

名古屋林業土木協会古川支部では、令和6年9月7日（土）会員5社12名が、富山県と岐阜県の県境に位置する「白木峰」登山道につながる林道の除草・整備作業をフォレスト・サポーターズ活動の一環として実施しました。

この林道は飛騨森林管理署（高山市：木島伸悟署長）が管理する万波林道で、今年3年目となる取り組みです。岐阜県側からは 飛騨市宮川町の万波川上流部の小坂谷からの登山コース（およそ3時間）がありますが、日常整備されていないため笹藪が繁茂し危険箇所も不明なため登山者の遭難事故が懸念されていました。近年は、岐阜県側からの登山者が増加していることから、飛騨市においては安全な登山をしていただくためにも登山道の再整備と周辺環境の継続的な保全が課題となってきました。今後もこの課題の解決に向け（一社）名古屋林業土木協会古川支部では引き続き社会貢献活動として地域の要請に応じていくこととしております。



3

すべての人に健康と福祉を



6

安全な水とトイレを世界中に



11

住み続けられるまちづくりを



15

陸の豊かさも守ろう



17

パートナーシップで目標を達成しよう



「赤沼田天保林」への道路整備

令和6年9月10日 小坂支部

名古屋林業土木協会小坂支部では、下呂市役所地域振興部小坂町振興事務所と協働で赤沼田天保林(下呂市小坂町赤沼田国有林:ヒノキ 希少個体群保護林)への散策路につながる林道の除草や案内看板の清掃作業に総計20名で取り組みました。

当日は、岐阜森林管理署から駒瀬勉署長、小原弘明小坂森林事務所森林官、下呂市小坂町振興事務所から石丸直志副所長も出席され、駒瀬署長からは社会貢献活動へのお礼と、労働災害の防止について挨拶と指導をいただきました。石丸副所長からは、「地域住民の高齢化が進む中、この地域が持っている貴重な観光資源を保全していただくこのような活動は大変ありがたい。」とのお礼の言葉がありました。

赤沼田天保林では、様々な団体や教育関係者の視察がされていますが、来月10月には全国森林レクリエーション協会による現地研修会が行われるなど、今回の整備により入り込み車両がより安全に通行できるようになりました。



サイクルツーリングに向け道路清掃

令和6年10月26日 岐阜支部

名古屋林業土木協会岐阜支部では、10月26日(土)に岐阜県関市で例年開催される「せきサイクル・ツーリング2024 in 板取川」に先立ち、10月16日(水)、治山事業実行現場近くのコース終点まで約1.5kmにわたり除草作業や道路清掃を実施しました。

10回目の開催となる今年の「せきサイクル・ツーリング」は、関市合併20周年記念の冠を付して開催されます。関市武芸川地域から高賀神社を經由し板取地区「川浦溪谷」まで、時間やスピードを競うのではなく、安全な走行で気軽にのんびり走るツーリングイベントです。川沿いを自転車で走り、地域の名産品(清流板取川の Ayu が入った雑炊など)が食べることができるとあって約85kmのロングコースと約50kmのショートコースに毎年多くの参加者が訪れています。板取地区は「モネの池」と呼ばれる絵画のような美しい池や絶景紅葉の川浦溪谷などが有名で、秋の紅葉シーズンです、たくさんの方が入り込んで豊かな自然を満喫します。



防風保安林の整備作業（獣害対策）

令和6年11月5日 富山支部

名古屋林業土木協会富山支部では、富山市の大沢野国有林において富山森林管理署が取り組む獣害対策の協力要請を受け森林整備作業を行いました。

里山林（都市近郊林）でもある同国有林は、地域住民の生活道路沿いにあり、熊など野生獣との緩衝帯としての機能を発揮させる目的で、木竹や灌木、雑草等が繁茂した状態となっている森林の整備を実施しました。

当日は富山森林管理署員10名（主作業：枝打ち）と当支部12名（主作業：草刈り）の2班に分かれて実施方法等十分な打ち合わせの後、作業にとりかかりました。

草刈り、枝打ちなどの作業は、多くの方に参加していただいたおかげで、予定していたエリアは2時間程度でほぼ完了することができました。

今回の取り組みは、富山森林管理署のプレスリリースによりNHK富山放送局が現地の作業の様子を取材され、同日のニュースで放送されました。



「古城山」林道（遊歩道）清掃活動

令和6年12月17日 岐阜支部

12月17日（木）、古城山国有林（岐阜県美濃市）において名古屋林業土木協会岐阜支部による登山道整備が行われました。

岐阜支部では古城山への登山道整備活動を平成20年から毎年取り組んでおり今年で17回目となりました。

当日は、岐阜支部会員企業5社から13名、岐阜森林管理署、美濃市役所からも参加され総計15名により、今年には特に遊歩道と兼ねている舗装林道の落葉や崩土、横断溝の堆積物除去などの清掃作業を行いました。

美濃市役所からは「毎年実施していただいているこのような整備活動は大変ありがたい」と感謝とともに、継続した取り組みとして地元からも大きな期待されており、今後も有意義な取組として継続していきます。



国有林見守り隊（みま森たい）の協定締結

令和6年7月25日 飛騨4支部

7月25日（木）飛騨森林管理署において、名古屋林業土木協会（構成会員数59社）のうち飛騨4支部（久々野高山・古川・神岡・荘川）と名古屋造林素材生産事業協会（名古屋市22社）との国有林における情報収集と伝達に関する協定「国有林見守り隊（みま森たい）協定」が締結されました。

この協定は、近年の短時間、集中的な降雨等により山複崩壊など山地災害の発生が懸念されることから、下流地域に甚大な被害を及ぼすことが懸念される森林や河川の変化等の状況把握が重要である中、広大な国有林内を国有林職員のみで把握するのは困難となってきたことから、日々国有林に入林し森林整備や素材生産、治山、林道事業など様々な事業を展開している請負事業者等の関係者が、事業地への通勤時等に国有林内の災害や森林（林地の亀裂、通常ではない落石など）や河川（異常な濁りなど）の異変など、災害の兆候など発見した際、いち早く情報を提供してもらうよう協力要請があり、このほど通報体制が整備され賛同する事業者と協定締結により取り組んでいくこととなったものです。なお、情報連絡方法は、スマートフォンを用いてQRコードから簡単に森林管理署へ連絡できる方法となっています。



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナシップで目標を達成しよう



令和7年度 林野公共事業当初予算の要望活動（その1）

令和6年8月5日～11日 富山支部 久々野高山支部 小坂支部

お盆や夏休みを利用して帰省している地元国会議員に対して、来年度林野公共事業予算の確実な確保に向けた要望活動を実施しました。

林土連では、今年度の要望の柱として、森林管理局・署の技術者の育成・確保や近年の資材高騰等を踏まえた適正な利潤の確保、災害に強い幹線となる林道等の整備を目的とした森林整備事業予算の増額確保、さらには、国土強靱化のための「5か年加速化対策」続く中期計画の早期策定により森林整備・治山対策を切れ目なく計画的須かつ着実に推進することを新たに要望事項としています。

なお、渡辺猛之参議院議員（治山・林道事業促進議員連盟）への要請は8月30日に予定していましたが、台風10号の影響により延期となりました。



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナシップで目標を達成しよう



令和7年度林野公共事業当初予算の要望活動 (その2)

令和6年9月7日 名古屋林業土木協会

台風10号の影響により延期していた、渡辺猛之参議院議員(森林整備・治山事業促進議員連盟)への予算確保要請活動が三尾秀和会長により実施しました。

要請書の手交とともに、先に名古屋協会が林道の現況を調査した内容など林道事業にかかる予算確保について特に強く要請されました。



控

我が国は、地形が急峻で、地震や火山活動も活発であり、断層や地滑り地帯がいたるところに分布していること等から、梅雨や台風時期の豪雨等により自然災害を受けやすい宿命を負っています。

特に、近年、気候変動の影響による集中豪雨の発生等により、短時間強雨や大雨の頻度が増加することで、全国各地で大規模な土砂災害が発生するリスクが高まっています。

昨年10月梅雨前線や台風の影響で集中豪雨が降り注ぎ、記録的な大雨により土砂災害が発生するとともに、本年1月には能登半島地震により多数の山地災害が発生しました。

このような状況を踏まえ、事前防災・減災の観点から、森林の有する機能を高度に発揮するため、災害に強い健全な森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していくことが求められています。

また、山間地域では、住民の安全・安心を確保するために必要となる働き手の高齢化と若い手不足に加え、働き方改革に伴う時間外労働の規制、資材の高騰や労働者の賃金の引き上げが重要な課題となっています。

地域経済の活性化と雇用問題を解決するためには、企業の安定的な経営と工事の品質を確保するための予算や適正な利権の確保が鍵であり、さらには、生産者の向上や業務の効率化を目的としたDXの推進等が必要不可欠となります。

ついで、これらの課題に早期に対処するために必要となる令和7年度林野公共事業予算について、下記のとおり大規模な増額確保を強く要望します。

記

- 1 大規模災害が発生した際の体制や現場での事業を確保に実施する体制を強化するため、森林管理員・警の技術者を育成・確保するとともに、近年の資材高騰や現地の施工条件等の特性を踏まえた適正な予定価格の積算や変更設計により、受注者が適正な利権を確保できるような取り組みを要請すること。
- 2 国民の安全・安心な暮らしの実現に向け、荒廃山地の復旧対策はもとより、山間地域での山地災害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策をより一層強力に推進するための治山事業予算の増額確保を図ること。
- 3 2050カーボンニュートラルの実現や花形産業への対応も含め、森林資源の循環利用を確立する観点から、木材の安定供給を効率的・効率的に実施でき、主役の産業も着実に実施できるよう、災害に強い森林となる林道等の整備を目的とした森林整備事業予算の増額確保を図ること。
- 4 国土強靱化対策のさらなる加速化を目的とした「防災・減災、国土強靱化のための5年強靱化対策」について引き続き所定の予算を効率的に確保するとともに、「5年強靱化対策」に続く中期計画の早期策定により、森林整備・治山対策を切れ目なく計画的かつ着実に推進すること。

一般社団法人 名古屋林業土木協会
会長 三尾 秀和

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう



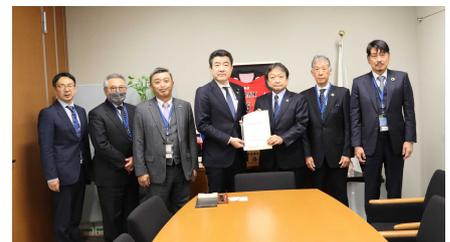
林野公共事業予算の確保・拡充へ要請活動

令和6年11月19日～20日 名古屋林業土木協会役員

令和6年11月19日(火)～20日(水)にかけて、地元選出の国会議員の方々へ「令和7年度林野公共事業予算に関する要望書」を提出し要請しました。

今回の重点要望は、「頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、国産材の安定かつ持続的な供給体制構築のための災害に強い林道等路網整備の強力な推進、森林吸収源対策の着実な推進、花粉症対策の加速化等に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現する」とこととし、関係者一丸となった活動・要請が行われました。

要請活動では、11月19日(火)17時から森林整備・治山事業促進議員連盟による緊急決起大会が参議院議員会館で開催されました。山口議連会長はじめ国会議員82名と関係団体(全森連、林土連、全森建、治山治水協、全素生協等12団体と都道府県担当部局ほか)80名が出席しました。名古屋林業土木協会からも会長、副会長含め7名が出席しました。



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう

